

2021年度FD第1部全体会報告資料

# 授業評価アンケートから考える教育改善

---

呉 書雅 (WU SHUYA)

教育推進機構高等教育企画室特任准教授

# 本日の内容

---

1. FDの狙い
2. 調査の概要
3. 授業の総合的満足度の確認
4. 単位認定基準の達成度とその改善のヒント
5. 自由記述分析に見る授業改善のヒント
6. シラバスにおける「授業改善・工夫」の分析
7. まとめ

# 1. FDのねらい

---

- 授業評価アンケートは学生目線での授業改善を実現するためのツール
- 本FDでは、基礎的な統計分析を行い、授業評価アンケートに秘められた「学生の声」を析出
  - 特に授業の単位認定基準の達成度とその要因に着目した分析を実施し、授業改善のヒントを模索
- 「学生の声」に耳を傾け、ともにさらなる授業改善に向けた手がかりを模索！！

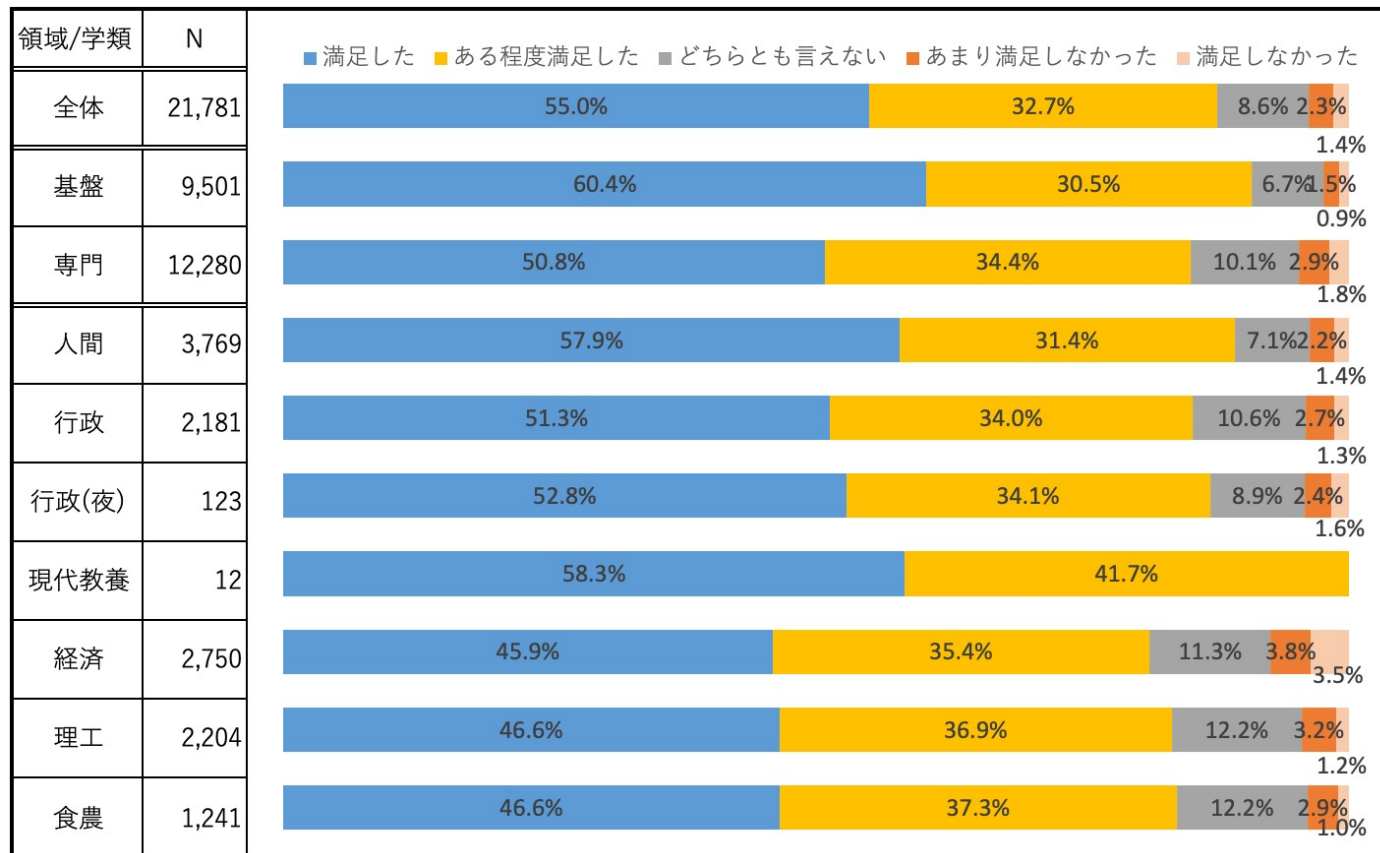
## 2. 調査の概要

---

- 調査時期
    - 令和3年7月21日(水)～8月7日(土)
  - 対象科目
    - 原則的に全学授業科目を対象。
      - ただし、分析結果により対象科目が特定されないように、履修登録者数 10 名以下の科目と留学生科目を分析対象から除外した。
  - 回答率
    - 基盤教育70.3%
      - 回答件数9,501／履修登録件数13,509
    - 専門教育52.7%
      - 回答件数12,280／履修登録件数23,289
  - 設問項目の構成
    - ①回答者の学年・学類
    - ②授業への取り組み
    - ③授業に関する評価
- ※FD資料\_2021年度前期授業評価アンケート集計結果全体も参照のこと。

# 3. 授業の総合的満足度の確認

図表1 授業の総合的満足度の概況



- 本学の授業に関する学生の満足度は概して高い

- 「総合的に見てこの授業に満足しましたか」に対する肯定的な回答は、学士課程全体で87.7%に及んだ。

- 基盤教育(90.9%)は専門教育(85.2%)に比べて、肯定的な回答が高くなっている。

- 専門教育の科目の中でも人間発達文化学類の肯定回答の割合は、89.3%と他の学類に比べて、高くなっている。

# 4. 単位認定基準の達成度とその改善のヒント

---

## 4-1 単位認定基準の達成度の概況

## 4-2 授業外学習時間

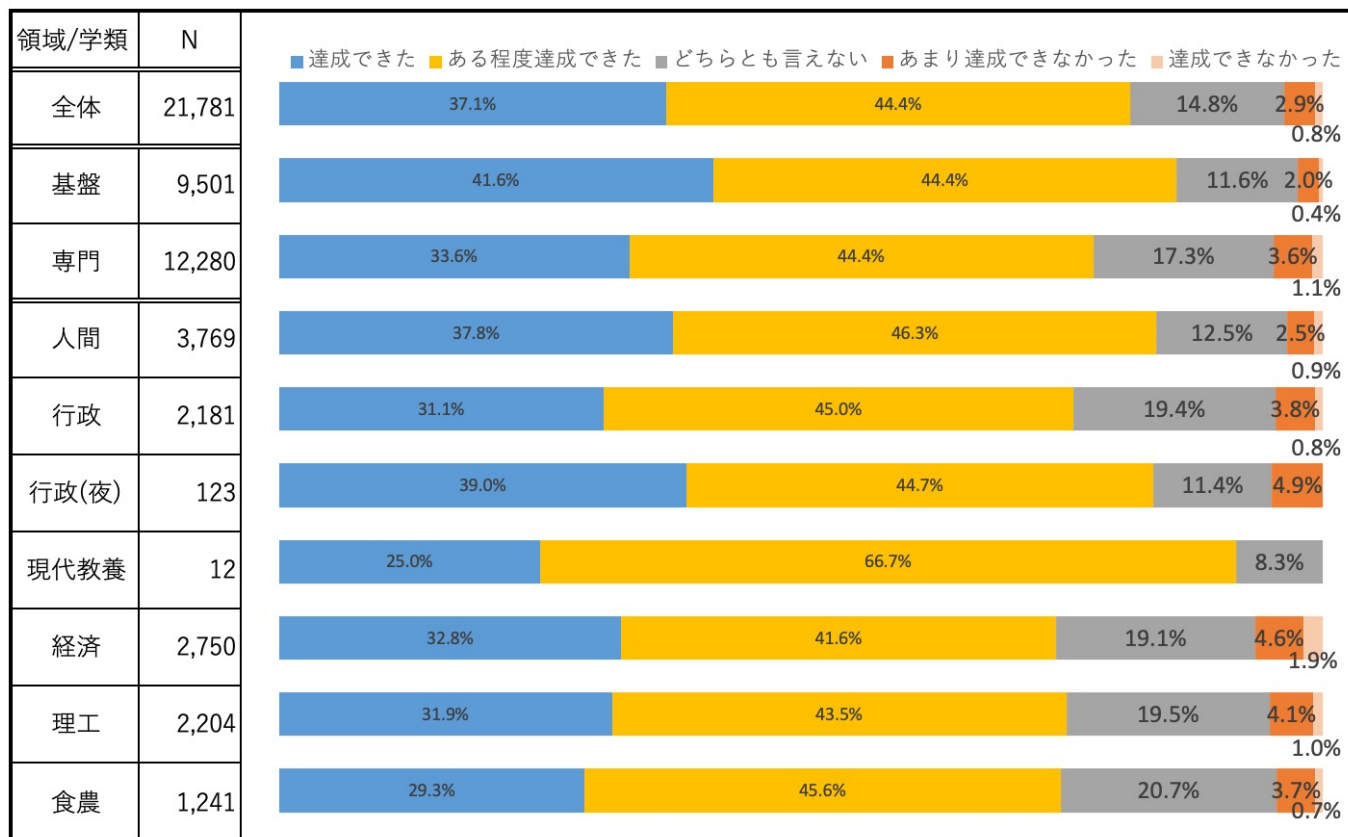
- 授業外学習時間の重要性: 基盤・専門
- 授業外学習時間の授業区分別の分布
- シラバスにおける「授業外の学修」に関する指示

## 4-3 授業評価アンケート各項目との関係性

## 4-4 達成度の規定要因分析

# 4-1. 単位認定基準の達成度の概況

図表2 単位認定基準の達成度の概況



- 「シラバスに掲げられた望ましい水準を達成できましたか」に対する肯定的な回答は、学士課程全体で81.5%に及んだ。
- 基盤教育（86.0%）は専門教育（78.0%）に比べて、肯定的な回答が高くなっている。
- 専門教育の科目の中でも人間発達文化学類の肯定回答の割合は、84.1%と他の学類に比べて、高くなっている。

## 4-2. 授業外学習時間の重要性: 基盤

図表3 学習時間と達成度のクロス集計(基盤)

	達成でき なかった	あまり達成 できなかった	どちらとも 言えない	ある程度 達成できた	達成できた	合計
4時間以上	4 (2.1%)	8 (4.2%)	26 (13.7%)	45 (23.7%)	107 (56.3%)	190 (100.0%)
3~4時間未満	1 (0.4%)	11 (4.9%)	32 (14.2%)	86 (38.2%)	95 (42.2%)	225 (100.0%)
2~3時間未満	2 (0.2%)	18 (2.0%)	97 (10.6%)	389 (42.5%)	409 (44.7%)	915 (100.0%)
1~2時間未満	8 (0.3%)	37 (1.4%)	268 (10.3%)	1192 (45.9%)	1090 (42.0%)	2595 (100.0%)
30分~1時間未満	3 (0.1%)	50 (2.0%)	259 (10.2%)	1233 (48.6%)	990 (39.1%)	2535 (100.0%)
30分未満	7 (0.4%)	32 (1.8%)	232 (13.3%)	800 (45.8%)	677 (38.7%)	1748 (100.0%)
何もしなかった	14 (1.1%)	32 (2.5%)	190 (14.7%)	474 (36.7%)	583 (45.1%)	1293 (100.0%)

注: 色付きセルは残差分析の結果有意に多いものである(p<.05)。

- 「なにもしなかった」と回答した学生は達成度が低い。
- 「30分~1時間未満」と回答した学生は、ある程度達成できたのが高くなっている。
- 「2時間~3時間未満」と「4時間以上」と回答した学生は、「達成できた」のが高くなっている。

授業外学習が「なにもしない」学生数を減らすことが重要！！



## 4-2. 授業外学習時間の重要性: 専門

図表4 学習時間と達成度のクロス集計(専門)

	達成でき なかった	あまり達成 できなかった	どちらとも 言えない	ある程度 達成できた	達成できた	合計
4時間以上	3 (0.9%)	11 (3.4%)	43 (13.2%)	110 (33.7%)	159 (48.8%)	326 (100.0%)
3~4時間未満	5 (1.2%)	20 (4.8%)	61 (14.5%)	204 (48.5%)	131 (31.1%)	421 (100.0%)
2~3時間未満	10 (0.7%)	56 (4.0%)	236 (16.8%)	578 (41.1%)	527 (37.5%)	1407 (100.0%)
1~2時間未満	38 (1.1%)	115 (3.2%)	602 (17.0%)	1610 (45.5%)	1176 (33.2%)	3541 (100.0%)
30分~1時間未満	14 (0.4%)	109 (3.2%)	590 (17.1%)	1646 (47.8%)	1087 (31.5%)	3446 (100.0%)
30分未満	23 (1.1%)	89 (4.2%)	369 (17.6%)	981 (46.7%)	639 (30.4%)	2101 (100.0%)
何もしなかった	40 (3.9%)	45 (4.3%)	223 (21.5%)	329 (31.7%)	401 (38.6%)	1038 (100.0%)

注：色付きセルは残差分析の結果有意に多いものである(p<.05)。

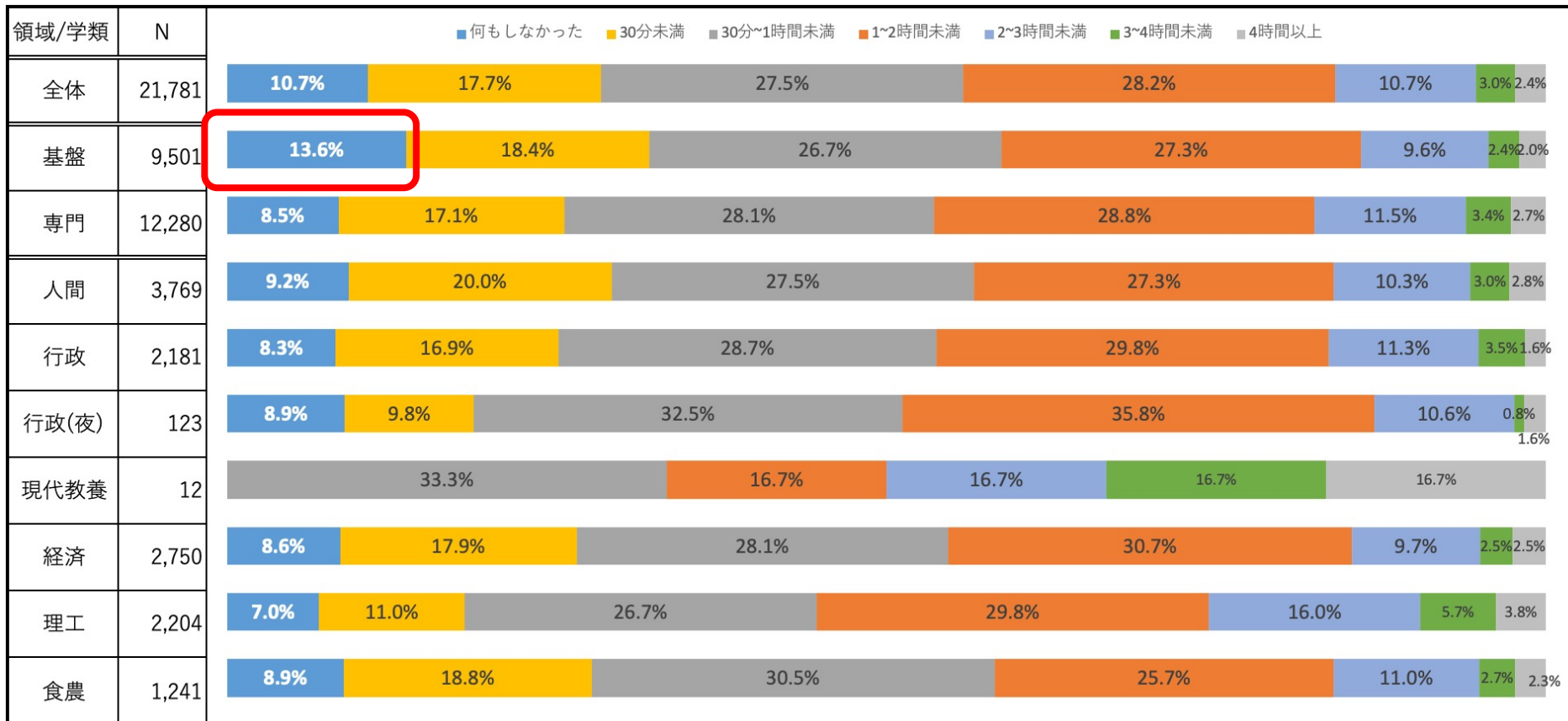
### ● 基盤教育と同様の傾向

- 「なにもしなかった」と回答した学生は達成度が低い。
- 「30分未満～1時間未満」と回答した学生は、ある程度達成できたのが高くなっている。
- 「2時間～3時間未満」と「4時間以上」と回答した学生は、「達成できた」のが高くなっている。

やはり授業外学習が「なにもしない」学生数を減らすことが重要！！

# 4-2. 授業外学習時間: 分布

図表5 授業外学習時間の分布



## 4-2. 「授業外の学修」に関する指示

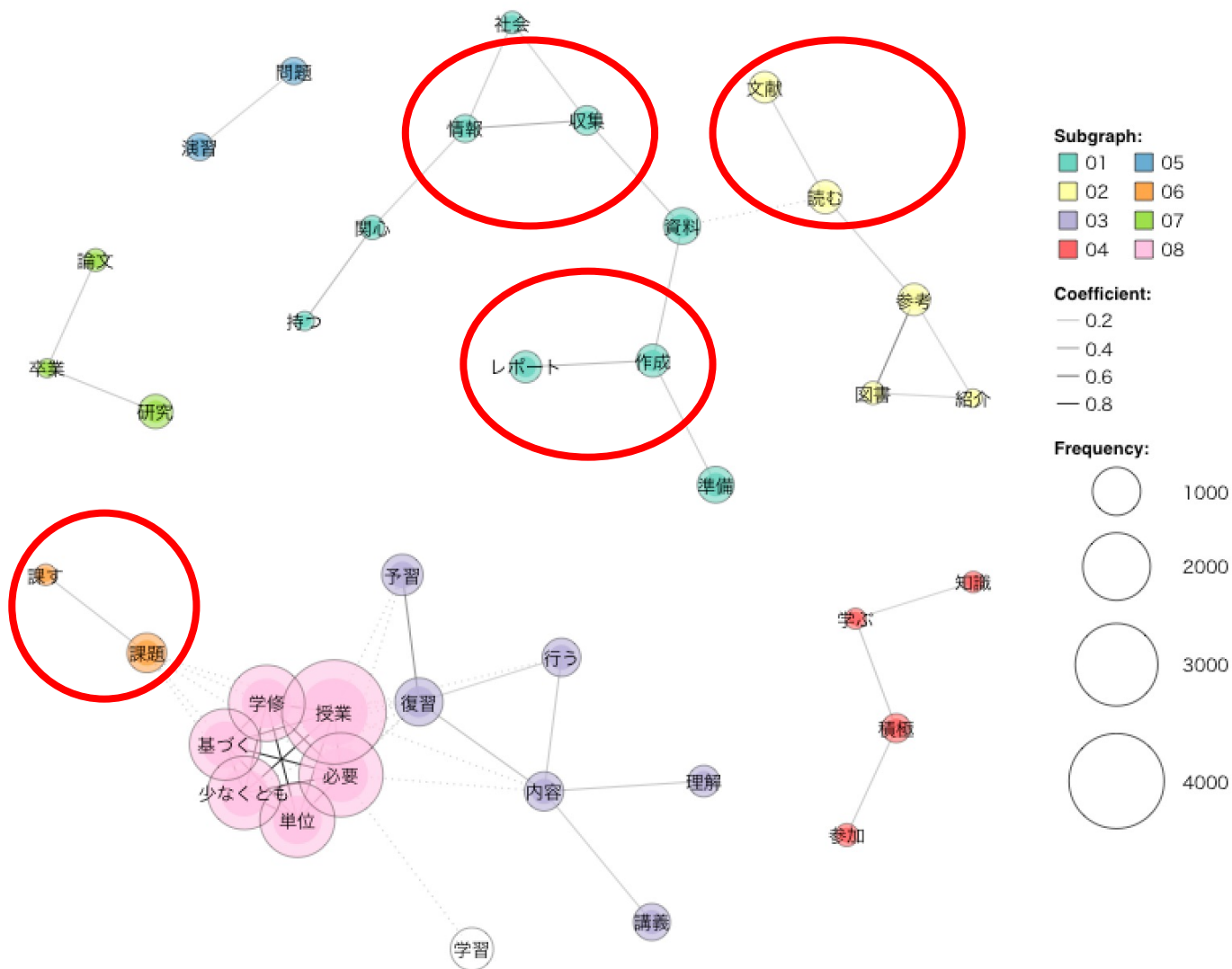
### ● 課題を課すのが基本

- レポート作成型
- 文献読解型
- 情報・資料収集型

### ● 事例

「レポート課題は、実験・観察結果のまとめ、それに基づいた考察だけでなく、実験・観察の目的、手順や方法についても記述する必要があるため、実施した実験や観察内容については、しっかりと復習しておくこと。また、結果に基づいた考察ができるように、授業で配付された資料以外の文献や情報を収集する努力を怠らないこと。」(共生理工)

図表6 シラバスにおける授業外学習の共起ネットワーク



注: 分析にはKH CoderのVersion3.Beta01gを使用した。

## 4-3. 各項目との関係性: 基盤

図表7 達成度と各項目の相関(基盤)

	達成度	受講前の興味	出席回数	授業回数	授業内容の適切さ	授業方法の適切さ	理解度	総合満足度
達成度	1							
受講前の興味	.384**	1						
出席回数	.126**	.100**	1					
授業回数	.054**	.072**	.523**	1				
授業内容の適切さ	.476**	.387**	.097**	.065**	1			
授業方法の適切さ	.491**	.378**	.079**	.060**	.807**	1		
理解度	.721**	.372**	.101**	.054**	.514**	.539**	1	
総合満足度	.579**	.434**	.120**	.063**	.629**	.658**	.609**	1

\*p<.05,\*\* p<.01

弱い相関 中程度相関 強い相関

\*スピアマンの順位相関係数

- 弱い正の相関
  - ・受講前の興味
- 中程度正の相関
  - ・授業内容の適切さ
  - ・授業方法の適切さ
- 強い正の相関
  - ・授業内容の理解度

授業内容の理解度を高めるための工夫が重要

## 4-3. 各項目との関係性: 専門

図表8 達成度と各項目の相関(専門)

	達成度	受講前の興味	出席回数	授業回数	授業内容の適切さ	授業方法の適切さ	理解度	総合満足度
達成度	1							
受講前の興味	.435**	1						
出席回数	.068**	.047**	1					
授業回数	.030**	0.013	.585**	1				
授業内容の適切さ	.484**	.448**	.062**	.050**	1			
授業方法の適切さ	.514**	.437**	.050**	.042**	.824**	1		
理解度	.779**	.478**	.046**	.022*	.528**	.561**	1	
総合満足度	.646**	.503**	.046**	.019*	.654**	.683**	.670**	1

\*p<.05,\*\* p<.01

弱い相関 中程度相関 強い相関

\*スピアマンの順位相関係数

- 中程度正の相関
  - 受講前の興味
  - 授業内容の適切さ
  - 授業方法の適切さ
- 強い正の相関
  - 授業内容の理解度

やはり授業内容の理解度を高めるための工夫が重要

# 4-4.規定要因の分析: 基盤

- 出席:出席回数が多いほど達成度が高い。
- 受講前の興味:受講前にある程度興味,興味があると,達成度が高い。
- 学習時間:特に授業後「30分～1時間未満の学習」で達成度が高まる。
- 授業方法の適切さ:授業方法が適切であると,達成度が高まる。
- 理解度:内容の理解度は学生の達成度に強く影響している。

図表9 達成度の多項ロジスティクス回帰分析(基盤)

	あまり達成できなかった		どちらとも言えない		ある程度達成できた		達成できた	
	B	Exp(B)	B	Exp(B)	B	Exp(B)	B	Exp(B)
出席回数(回)	0.131 *	1.140	0.251 ***	1.286	0.380 ***	1.462	0.439 ***	1.552
受講前の興味_ref.興味がなかった								
ある程度興味があったダミー	0.493	1.637	0.582	1.790	1.260 **	3.524	1.253 **	3.501
興味があったダミー	0.480	1.615	0.429	1.536	1.027 *	2.793	1.707 ***	5.513
学習時間_ref.何もしなかった								
30分未満ダミー	0.430	1.537	0.794	2.213	1.045 *	2.843	0.757	2.131
30分~1時間未満ダミー	1.496 *	4.462	1.484 *	4.412	1.928 **	6.878	1.586 *	4.884
1~2時間未満ダミー	0.280	1.323	0.607	1.834	0.910 *	2.486	0.594	1.810
2~3時間未満ダミー	1.014	2.756	1.103	3.014	1.427	4.164	1.157	3.180
授業内容の適切さ_ref.適切でなかった								
適切だったダミー	-1.079	0.340	-1.392 *	0.248	-1.242 *	0.289	-0.544	0.580
授業方法の適切さ_ref.適切でなかった								
ある程度適切だったダミー	1.119	3.061	1.355 *	3.877	2.670 ***	14.434	1.956 **	7.074
適切だったダミー	1.221	3.391	1.355 *	3.879	2.208 **	9.101	2.370 **	10.698
科目内容の理解度_ref.理解できなかった								
ある程度理解できたダミー	0.789	2.201	1.426 *	4.163	3.965 ***	52.706	3.490 ***	32.800
理解できたダミー	-1.389 *	0.249	-0.097	0.908	2.832 ***	16.982	5.292 ***	198.750
切片	-0.958		-1.313 *		-5.570 ***		-8.364 ***	
N	188		1104		4219		3951	
χ <sup>2</sup>	7699.310***		AIC	3992.5	Cox & Snell R <sup>2</sup>		0.555	
-2対数尤度	3888.500		BIC	4364.8	Nagelkerke R <sup>2</sup>		0.628	
					McFadden R <sup>2</sup>		0.377	

注:従属変数の参照カテゴリ:達成できなかった。\*\*\*p<.001, \*\*p<.01, \*p<.05.

従属変数の達成度は序列あるものと仮定できるが,平行性の仮定かは満たされていないため,本分析では多項ロジスティック回帰分析を用いた。



# 4-4.規定要因の分析: 専門

- 出席:出席回数が多いほど達成度が高い。
- 受講前の興味:受講前にある程度興味,興味があると,達成度が高い。
- 学習時間:授業後の学習により,達成度が高まる。(特に「30分~1時間未満」「2~3時間未満」)
- 授業方法・内容の適切さ:授業方法・内容が適切であると,達成度が高まる。
- 理解度:内容の理解度は学生の達成度に強く影響している。

図表10 達成度の多項ロジスティクス回帰分析(専門)

	あまり達成できなかった		どちらとも言えない		ある程度達成できた		達成できた	
	B	Exp(B)	B	Exp(B)	B	Exp(B)	B	Exp(B)
出席回数(回)	0.113 **	1.120	0.068 *	1.070	0.125 ***	1.133	0.151 ***	1.163
受講前の興味_ref.興味がなかった								
ある程度興味があったダミー	0.185	1.203	0.311	1.365	0.886 ***	2.426	0.829 **	2.290
興味があったダミー	-0.229	0.796	-0.164	0.849	0.362	1.436	0.752 **	2.122
学習時間_ref.何もしなかった								
30分未満ダミー	0.717 *	2.047	0.658 *	1.931	0.895 **	2.447	0.611 *	1.842
30分~1時間未満ダミー	1.359 ***	3.893	1.547 ***	4.698	1.728 ***	5.628	1.513 ***	4.539
1~2時間未満ダミー	0.424	1.527	0.625 **	1.867	0.836 **	2.307	0.647 *	1.909
2~3時間未満ダミー	1.029 *	2.800	0.981 **	2.666	1.043 **	2.839	1.098 **	2.998
授業内容の適切さ_ref.適切でなかった								
ある程度適切だったダミー	1.521 ***	4.578	1.251 **	3.495	1.768 ***	5.860	1.546 ***	4.693
適切だったダミー	0.740	2.095	0.269	1.309	0.557	1.746	1.020 *	2.772
授業方法の適切さ_ref.適切でなかった								
ある程度適切だったダミー	0.943 *	2.568	1.373 **	3.949	2.299 ***	9.965	1.489 **	4.433
適切だったダミー	-0.123	0.884	0.237	1.268	1.145 *	3.141	1.230 *	3.421
科目内容の理解度_ref.理解できなかった								
ある程度理解できたダミー	0.269	1.309	1.529 ***	4.613	4.126 ***	61.936	3.601 ***	36.650
理解できたダミー	-0.369	0.691	0.358	1.430	3.308 ***	27.327	6.130 ***	459.533
切片	-1.553 **		0.184		-3.306 ***		-5.440 ***	
N	445		2124		5458		4120	
$\chi^2$	11901.644***		AIC	5768.9	Cox & Snell R2		0.621	
-2対数尤度	5656.945		BIC	6184.2	Nagelkerke R2		0.683	
					McFadden R2		0.404	

注:従属変数の参照カテゴリ:達成できなかった. \*\*\*p<.001, \*\*p<.01, \*p<.05.

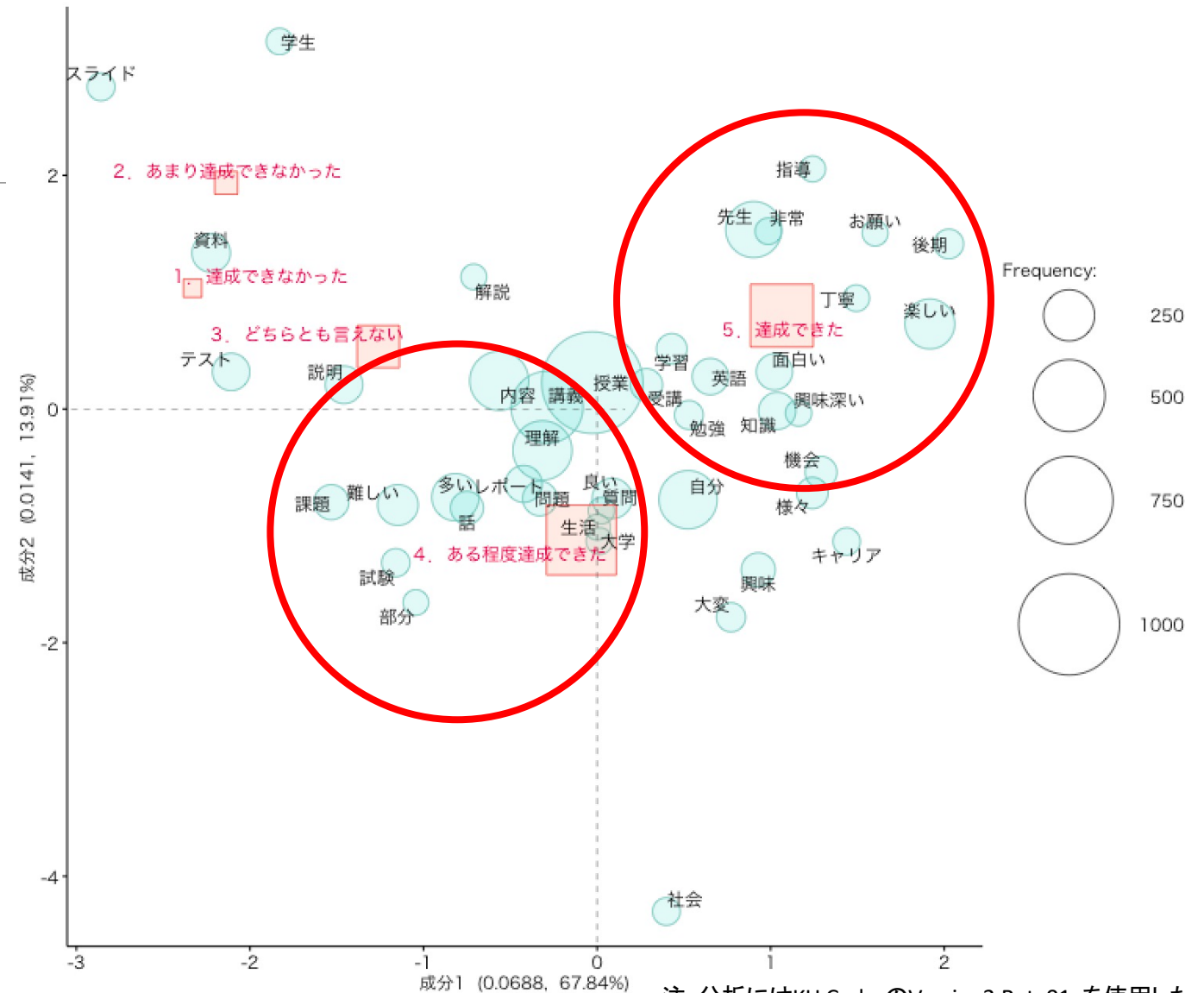
従属変数の達成度は序列あるものと仮定できるが,平行性の仮定かは満たされていないため,本分析では多項ロジスティック回帰分析を用いた。

図表10 達成度別と自由記述の頻出語の対応分析

## 5. 自由記述分析に見る 授業改善のヒント

### 達成度別に自由記述の キーワードを分析

- 達成できた学生  
丁寧, 楽しい, 興味深い, 面白い, 知識, 学習
- ある程度達成できた学生  
理解, 質問, 問題, レポート, **難しい**



注: 分析にはKH CoderのVersion3.Beta01gを使用した。



# 難しい内容をわかりやすく教える

## ● 基盤

- ✓「初めて経験する〇〇だったため感覚をつかむのがとても難しかったのですが、先生の助言や動画による自習のおかげで最後の方は〇〇を楽しむことができるくらいまで上達できました」(2年生, 授業外学習時間が2~3時間未満)
- ✓「授業に関連する映画や映像を見ることは、教科書に書かれている文章の理解や解釈が難しい部分を理解するのを助けてくれた。」(2年生, 授業外学習時間が1~2時間未満)

## ● 専門

- ✓「受講前は、専門的で難しそうなイメージがあったが、〇〇など身近な例で授業をしてくださったので、話を理解しやすかった」(1年生, 授業外学習時間が1~2時間未満)
- ✓「難しいところも質問すれば回答してくださり助かった。」(1年生, 授業外学習時間が1~2時間未満)
- ✓「最初は難しく感じましたが、資料をたくさん使い、段階を踏んで説明してくださったので、徐々に理解できるようになりました。」(2年生, 授業外学習時間が30分~1時間未満)

⇒単位認定基準の達成度の高い学生は、単に簡単な授業・単位が取れる授業を望んでいるわけではない!

# 学生に対する配慮・対応

- 基盤

- ✓ 「授業の細かい解説や重要事項がまとめられていて大変理解しやすかった。」（1年生，授業外学習時間が1～2時間未満）

- 専門

- ✓ 「学生の理解を促進するために様々な具体例を用いて解説してくださったり，試験前は過去問を提示してくださったり，説明が不十分だった点については追加で資料を作成してくださったりと，とにかく学生に対する配慮であふれていてとても素敵な先生だなと感じました。」（2年生，授業外学習時間が1～2時間未満）

- ✓ 「解説はとても丁寧で，毎回冒頭にて学生からの質問に対応してくださっているのも非常に良かったです。」（2年生，授業外学習時間が30分～1時間未満）

- ✓ 「内容に興味はあったものの，〇〇での授業ということに不安を感じていました。ですが，丁寧に解説していただけたので，〇〇の方がはっきりしていて〇〇で定義を理解するよりも分かりやすいことに気づきました。とても楽しかったです」（2年生，授業外学習時間が1～2時間未満）

# 学生の興味を引き出す

## ● 基盤

- ✓「元々**興味が無かったが**、**とても興味深く**、眠い日でもなんとかなった。」(1年生, 授業外学習時間が30分～1時間未満)
- ✓「授業も面白く**毎回5～10分見る映像**もかなりいい。」(1年生, 授業外学習時間が2～3時間未満)
- ✓「**話し合いなどで情報共有**の他に, **交流**などもできたため楽しい講義でした。」(1年生, 授業外学習時間が2～3時間未満)

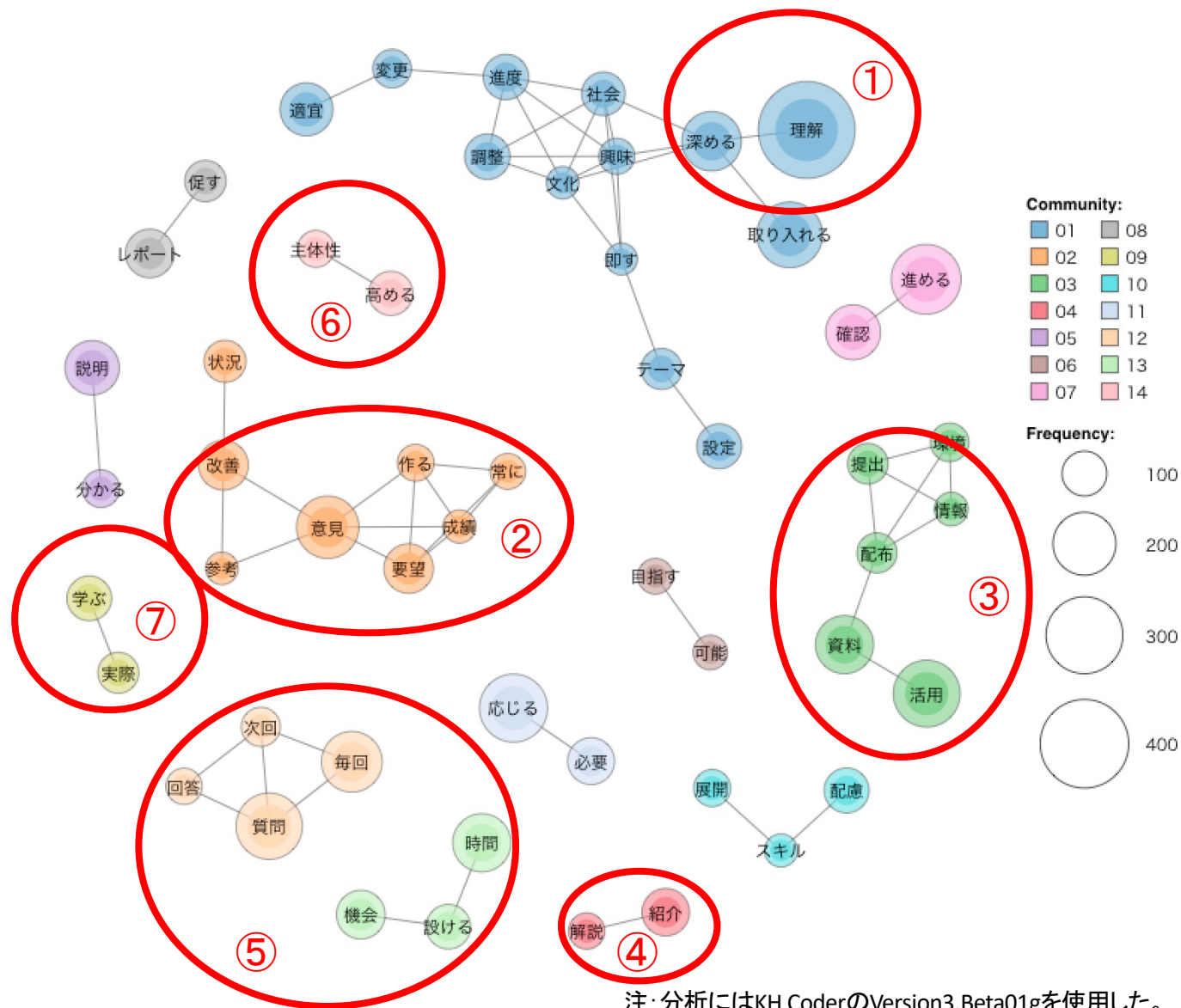
## ● 専門

- ✓「〇〇という学問に対しての面白さが理解できただけでなく, **日常生活でも活かせるような知識が得られたことが楽しかった**です。自分の専門以外の科目を学ぶことの大切さに気づきました。」(3年生, 授業外学習時間が30分～1時間未満)
- ✓「講義の内容としては, **実用的で面白く, 自分ごととして能動的に考えさせられる**回が多かった。」(1年生, 授業外学習時間が4時間以上)

図表11 シラバスにおける「授業改善・工夫」の共起ネットワーク

## 6.シラバスにおける「授業改善・工夫」の分析

- ① 理解を深める工夫
- ② 学生の声(意見・要望)に基づく授業改善。
- ③ 資料の活用・配布や情報の提供・共有
- ④ 解答の解説・動向の紹介
- ⑤ 質問回答の時間や機会の設定
- ⑥ 学生の主体性を高める
- ⑦ 実際の場面を学ぶ



# ①理解を深める工夫(1)

---

## ●映像音声資料の活用や事例の取り入れ

- ✓「画像や映像を多く使用することで、講義内容を理解しやすくする。」(食農)
- ✓「事例を多く取り入れ、理論を具体的内容として理解できるよう工夫している。」(人間発達)

## ●課題を課すや演習・実習

- ✓「Livecampus上で学生から質問を受け付け、講義中に回答することで理解を深める。」(経済経営)
- ✓「小テストによる理解の確認」(共生理工)「演習問題を多く行うことで、講義の理解を深める」(経済経営)

# ①理解を深める工夫(2)

- 質問への対応や学生の意見の反映
  - ✓「各講義の最後に書いてもらうコメントペーパーの質問や分からなかった点については、次の回のはじめで出来るかぎり取り上げるようにし、受講者の理解が深まるようにします」(基盤教育)
  - ✓「授業アンケートに基づき、レジュメの記述欄をわかりやすくしたり、PowerPointの分量を調整したりと、より理解しやすい授業改善につとめています。」(行政政策)
  - ✓「アンケート等で理解困難という指摘のあった箇所については、具体例や演習問題を増やして説明する。」(共生理工)
- 理解度の確認によって授業を進める
  - ✓「一方的に講義する形態ではなく、学生との議論を交えながら知識の暗記ではなく理解を深める授業を実施する。」(経済経営)
  - ✓「身近な疑問を用いることで、様々な分析手法への深い理解を促す」(経済経営)
  - ✓「理論的な学習のみではなく、分析実習を適宜入れることで、着実な理解を促進させるような講義形態とする。」(経済経営)

## ②学生の声(意見・要望)に基づく授業改善

---

- ✓「毎回の授業で、最後に振り返りの時間を設けて受講者の理解度や質問・意見を確認した上で、次回以降に反映させながら授業を進めています。」(基盤)
- ✓「授業へのご意見、ご要望は常に受けつけています。それが成績に影響することはありません。遠慮なく何でも言ってください。一緒に良い授業を作っていきましょう。」(基盤)
- ✓「匿名で意見・感想を紹介しているため、自分自身の考え方との比較が可能です。」(経済経営)
- ✓「双方向的な授業となるよう、毎回の授業で質問カードを配布・回収し、次の回の授業に代表的な質問を紹介し、教員が回答する時間を設ける。」(食農)

### ③資料の活用・配布や情報の提供・共有

- ✓「テキストや資料，DVDやパワーポイントなどの視聴覚教材を用い受講者の理解を促すようにする。」(人間発達)
- ✓「抽象的な解釈論だけでなく，具体的な事例を紹介してその判例の解説をしたり，問題の背景が分かるように様々な資料を紹介するなど，受講生にも分かりやすいように，なるべく具体的な説明をするように心がけている。」行政政策学類(夜間主)
- ✓「授業において配布する全ての資料を事前にLiveCampus上に掲載し，授業内容をLiveCampus上で広く公開して，学生の皆様が予習及び復習に活用できるようにしております。また，ICT等を積極的かつ有効に活用した授業方法を実践しております。」(共生理工)
- ✓「グループワークのためのオンラインサービスを活用し，資料配布・情報共有・課題提出・ディスカッション・成果物のアーカイブなど，能動的活動のための環境を整備する。」(経済経営)
- ✓「調べ学習を中心として，興味関心の醸成を図り，受講者間で情報を共有できるようにする。」(人間発達)



## ④ 解答の解説・動向の紹介

---

- ✓「授業中に演習問題を学生に解かせてから解答の解説を行うことにより学習効果を高める。」  
(共生理工)
- ✓「授業内容の充実化を図るために、最新企業の動向及び企業経営と関連した社会の動向の紹介と解説を重視した講義を行う。」(経済経営)
- ✓「学生の理解度を確認するため、Livecampusで小テストを実施するとともに質問を受け付け、翌日授業の冒頭で解説・応答の時間を設ける予定です。」(行政政策)

## ⑤ 質問回答の時間や機会の設定

- ✓「学生間で意見交換する時間などを作り，共に学ぶ仲間の輪が広がるように工夫する。」(共生理工)
- ✓「受講者間で意見交換する時間を設け，理解を深めます。」(共生理工)
- ✓「双方向的な授業となるよう，毎回の授業で質問カードを配布・回収し，次の回の授業に代表的な質問を紹介し，教員が回答する時間を設ける。」(食農)
- ✓「適宜，演習や実習の時間を設ける．また，定理などの各種命題をその関連がわかるのような概念図を多用する」(共生理工)
- ✓「毎時間の小テストに質問欄を設け，代表的な質問内容について次の時間の冒頭で回答する時間を設ける。」(人間発達)

## ⑥学生の主体性を高める

---

- ✓「グループワークを増やすことで受講生の主体性の発揮を促す」(経済経営)
- ✓「受講生一人ひとりの主体性を高めながら、周囲と協働で課題解決に取り組むことの大切さを実感できる実習をめざします。」(食農)
- ✓「演習科目ではレポーターとしての役割だけでなく、ディスカッションの運営を担う司会としての役割も身につけるよう促すなど、学生の主体性を発揮するよう工夫しています」(行政政策)

# ⑦ 実際の場面を学ぶ

---

- ✓「**実際の教育場面**を想定して、模擬授業を積極的に取り入れる。」(人間発達)
- ✓「講義で学んだことを、**実際のデータ**を用いた演習を通じて実感できる授業をめざします。」(食農)
- ✓「具体的なイメージがしやすいように、**実際に起こりうる〇〇事件**や**実際に起こった事件**(〇〇例)を用いて、解説を行います。」(行政政策学類(夜間主))

# その他

---

- レポートを課すことによって理解を促す

- ✓ 「受講生の理解度によっては、レポート等の課題を課して理解を促す。」(人間発達)
- ✓ 「パワーポイントや動画などを使って、わかりやすい講義を目指す。また、レポートは満点となるまで何度でも提出可能(提出の都度、コメントをつける)。」(共生理工)
- ✓ 「学生の皆様の授業外における学習効果促進のための取組として、毎回の授業につき、レポート問題として、演習問題を提示しております。加えて、毎週オフィスアワーを設定するとともに、電子メールにて、学生の皆様からのご相談を随時受け付けております。」(共生理工)

- 学生のスキル配慮によって授業を展開

- ✓ 「各学生の開始時点における学習状況、スキルに配慮した授業展開に努める。」(基盤)
- ✓ 「比較的少人数での演習ですから、できるだけ受講者各個人のスキルアップを狙って個別的な対応をしたいと思います。」(経済経営)

# 7. まとめ

---

- 授業外学習時間「**何もしない**」の学生を減らすこと。
- 単位認定基準の**達成度を高める**ためには学生の**理解度を高める**こと。
- 単位認定基準の**達成度の高い**学生は、単に簡単な授業・単位が取れる授業を望んでいるわけではない。**難しい内容をわかりやすく教えること**、**学生とコミュニケーションを取りながら**学生にきちんと配慮し、**丁寧に対応すること**、**その中で学生の興味を引き出す**ことが重要。
- 授業改善のヒント、特に学生の**理解度を高めるためのヒント**は、先生方の**シラバス**にすでに記載されており、相互に学び合うことが有益。
- もし授業評価アンケートのさらなる分析をご希望の学類等があれば高等教育企画室にお声がけください。

ご清聴ありがとうございました。